

2018年3月5日

報道関係各位

須高ケーブルテレビ株式会社
日本デジタル配信株式会社

須高ケーブルテレビと日本デジタル配信が「ケーブルクラウドファンディング」を 山ノ内町「ABMORI 実行委員会」に提供開始

須高ケーブルテレビ株式会社(長野県須坂市:代表取締役社長 丸山 康熙)は、日本デジタル配信株式会社(東京都渋谷区:代表取締役社長 河村 浩)と共同で、ABMORI 実行委員会(事務局:長野県山ノ内町役場農林課)が行うイベント運用資金の一部を調達するため、「ケーブルクラウドファンディング」(以下、ケーブル CF)の提供を開始しました。

<ケーブル CF ウェブサイト> <https://www.cablecf.com/>



※「ケーブル CF」とは、全国のケーブルテレビ事業者が自治体と共同で各地域の団体や企業をサポートし、地域に密着して、プロジェクトの運営資金をクラウドファンディングで調達できるようにする活動です。

※クラウドファンディングとは、「Crowd=群衆、Funding=資金調達」という言葉を掛け合わせた造語です。

須高ケーブルテレビは、地域に密着した放送・通信・文化活動事業を積極的に展開し、山ノ内町において本年 6 月に開催される「ABMORI プロジェクト」にも実行委員会の一員として参画しています。今般のケーブル CF においては、ABMORI 実行委員会との調整業務に加え、ABMORI プロジェクトに関するケーブル CF の各種プロモーション番組を制作し、Facebook 等の SNS だけでなく、自社および全国ケーブルテレビのメディアを活用したプロモーション活動を展開していきます。

また、昨年 9 月に長野県小布施町で開催されたスラックラインワールドカップでも大会運営費の一部を調達するため、ケーブル CF を活用し、目標設定額を達成した実績もあります。

日本デジタル配信は、ケーブルテレビ業界におけるプラットフォーム事業者として、ケーブル ID を活用した「ケーブル CF」の ABMORI 実行委員会と支援者をつなぐマッチングおよび支援金の決済システムの構築と運用を行います。

「ケーブル CF」は、今後、ケーブルテレビ事業者が制作したテレビ番組を視聴しながら、テレビ画面上で決済できる仕組みを実現するなど、地域力、メディア力などを活用したケーブルテレビならではのクラウドファンディングとして、地域活性化に貢献できるよう、更なる発展を目指してまいります。

報道関係者の皆様におかれましては、この機会に貴媒体でご紹介いただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆「ABMORI」とは

歌舞伎俳優の市川老蔵さんの提案により「いのちを守る森」づくりとして、信州・志賀高原の閉鎖スキー場を自然豊かな森に戻すため、苗木を植樹する活動として 2014 年から ABMORI が始まりました。日本を代表する生態学者 宮脇昭氏の監修のもと、海老蔵さんの呼びかけに賛同する多くの皆さんの手で 2014 年から毎年 1,000 人以上の方にご参加いただき、1 万本の植樹を実施しています。

今年で 5 回目を数える ABMORI は、「植える」活動にとどまらず、ドングリを播き、苗を育て、植えた苗の成長を見守る活動へと広がっています。



過去の様子

◆イベント概要

【イベント名】 第5回信州・志賀高原から始まる市川海老蔵「いのちを守る森」づくり＝ABMORI

【開催日程】 2018年6月24日(日)

【会場】

＜式典＞志賀高原総合会館98(98ホール)

長野県山ノ内町大字平穩 7148 番地(蓮池)

＜植樹＞志賀高原蓮池スキー場

長野県山ノ内町大字平穩 7148 番地(蓮池)

【公式ホームページ】 <https://abmori.com/>

【公式 Facebook ページ】 <https://www.facebook.com/Shigakogen.ABMORI/>



◆須高ケーブルテレビ株式会社 <http://www.stvnet.co.jp>

平成元年開局。長野県須坂市・小布施町・高山村をエリアとするケーブルテレビ局。「顧客感動度ナンバーワン宣言」のもと、テレビ、インターネット、IP 電話、光コラボ「ながの光」サービスなどを展開。これまでに日本ケーブルテレビ連盟主催のベストプラクティス大賞をはじめ、番組アワード、地方の時代映像祭、4K 徳島映画祭など各賞を受賞。2017 年度、第 10 回ベストプロモーション大賞で「全校放送～学校行事はケーブルで！シリーズ」がグランプリ、「長寿の里高山村台湾向けプロモーション」が準グランプリを獲得。女子美術大学、高山村との産学官連携事業や須坂市から委託された「シティセールスプロモーション」、地域コンテンツの海外展開など地方創生事業を幅広く展開している。

◆日本デジタル配信株式会社 <http://www.jdserve.co.jp/>

2000年4月設立。日本初のケーブルテレビ向けデジタル放送配信事業を軸として、ケーブルテレビ業界のデジタル化の推進に取り組み、現在は地上光ネットワークを用いたCS デジタル放送、BS デジタル放送等を全国のケーブルテレビ事業者へ配信している。この他にも、VOD プラットフォーム(みるプラス)やCATV 情報アプリケーション(CableGate)といった配信サービスの提供、ID ソリューションサービス、業務支援サービスなど、ケーブルテレビ事業者の課題解決や、サービス拡充に繋がる業務支援を幅広く提供。2015年12月からは、ケーブルテレビ業界共通の4K 専門チャンネル「ケーブル 4K」のチャンネル運営と配信事業も行い、ケーブルテレビ業界の4K 化を推進している。

＜本件に関するお問合せ＞

須高ケーブルテレビ株式会社 / メディア推進本部 山岸、営業本部牛尼

TEL:026-246-1222 E-mail:s-mash@stvnet.co.jp

日本デジタル配信株式会社 / 事業推進本部 杉山/今井

TEL:03-6757-0201(代表) FAX:03-6757-0209 URL:<http://www.jdserve.co.jp>